

「野村日本高配当株プレミアム(通貨選択型)」  
設定後の運用経過と今後の運用方針について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2012年6月19日に設定しました、「野村日本高配当株プレミアム(通貨選択型)」(以下、ファンド)の同年7月3日現在の運用経過と、今後の運用方針についてお知らせします。

【運用経過】

当該期間、ギリシャの再選挙や欧州連合首脳会議の結果を受け欧州債務問題を巡る懸念が後退したことを背景に、日本の株式市場は堅調な展開となり、全てのコースの基準価額が上昇しました。

ファンドが投資対象とする外国投資信託「ノムラ・マネージド・マスター・トラスト・ジャパン・ハイ・インカム・ストック・エンハンスト・ファンド」(以下、外国投資信託)の株式組入比率は、設定当初から順調に組入れを進めた結果、7月3日現在で90.4%となりました。また、「株式プレミアム戦略」によるカバー率は59.6%、プレミアム(年率)は4.1%となりました。

以下は、ファンドが投資する外国投資信託の資産内容です。

資産内容(2012年7月3日現在)

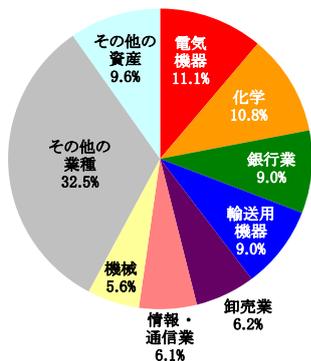
《ポートフォリオ特性値》

組入比率	90.4%
カバー率	59.6%
平均行使価格	106.4%
平均行使期間	35.1日
配当利回り(年率)	3.0%
プレミアム(年率)	4.1%

- ・上記のポートフォリオ特性値(カバー率、平均行使価格等)は、ポートフォリオの組入株式の各特性値を、その組入比率で加重平均したものです。
- ・カバー率:純資産に対するオプションのポジション
- ・平均行使価格:原資産価格(株価)に対する平均権利行使価格
- ・平均行使期間:権利行使日までの平均日数
- ・配当利回り:組入銘柄の今期または前期の配当予想(課税前)を、加重平均して算出。(東洋経済新報社データ等を基に野村アセットマネジメントが作成)
- ・プレミアム(年率):純資産に対する年率調整後のプレミアム収入

・プレミアム(年率)については、組入れたオプションの諸条件により、年率調整後のプレミアム収入が大きく変動する場合があります。

《業種別配分比率》



・業種は東証33業種分類によります。  
・四捨五入しているため、合計が100%とならない場合があります。

《組入上位10銘柄》

	銘柄	業種	純資産比	予想配当利回り(課税前)
1	本田技研工業	輸送用機器	2.7%	2.8%
2	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.7%	3.8%
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.7%	3.2%
4	キヤノン	電気機器	2.7%	3.8%
5	日産自動車	輸送用機器	2.7%	3.4%
6	住友化学	化学	1.8%	3.6%
7	西日本旅客鉄道	陸運業	1.8%	3.0%
8	大東建託	建設業	1.8%	4.2%
9	花王	化学	1.8%	3.8%
10	東芝	電気機器	1.8%	2.6%

・業種は東証33業種分類によります。  
・予想配当利回りは、一株当たりの予想配当金額を株価で割って表示しております。  
・予想配当金額は、税金を考慮していません。(東洋経済新報社データ等を基に野村アセットマネジメントが作成)

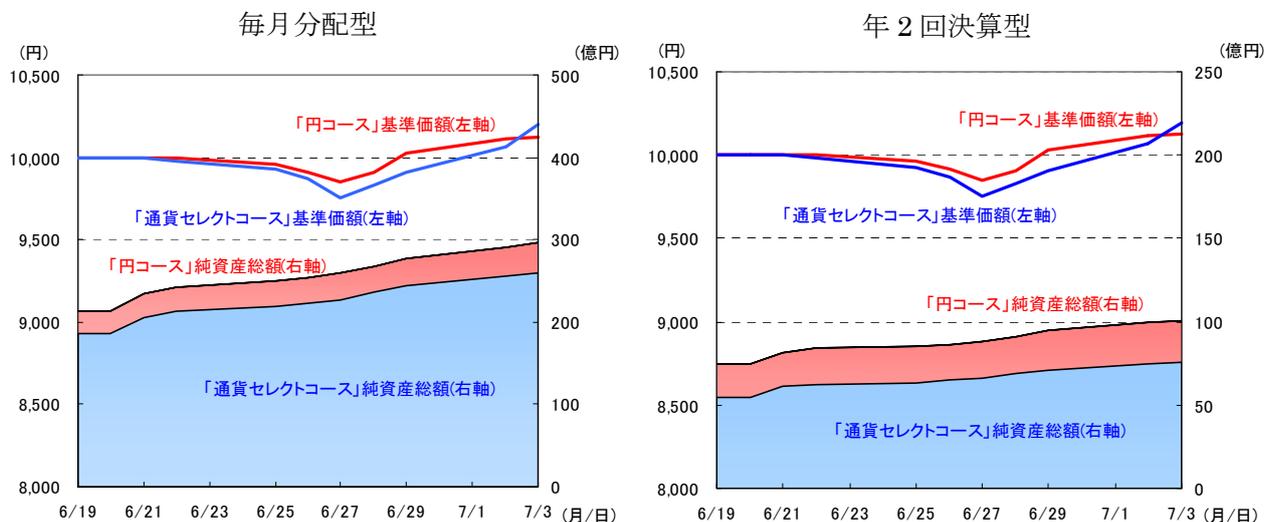
～上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。～

当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、ファンドは元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【ご参考資料】

ファンド設定来の基準価額と純資産総額の推移

期間:2012年6月19日(設定日)～2012年7月3日、日次



ファンドの初回決算は、毎月分配型が2012年8月22日、年2回決算型が2012年11月22日です。基準価額(分配金再投資)の表示はありません。

(2012年7月3日現在)

毎月分配型				年2回決算型			
円コース	基準価額	10,126円	円コース	基準価額	10,128円		
	純資産総額	35.8億円		純資産総額	25.0億円		
通貨セレクトコース	基準価額	10,199円	通貨セレクトコース	基準価額	10,197円		
	純資産総額	259.8億円		純資産総額	75.4億円		

設定来の基準価額の騰落率(2012年6月19日～7月3日)は以下のとおりです。

円コース(毎月分配型)	1.26%	円コース(年2回決算型)	1.28%
通貨セレクトコース(毎月分配型)	1.99%	通貨セレクトコース(年2回決算型)	1.97%

～上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。～

【今後の運用方針】

株式市場においては、欧州の債務問題に対する懸念が完全に払拭されるまでにはかなりの時間を要すると考えています。加えて、中国の成長減速懸念や米国の景気回復期待の後退リスクなど、世界経済の回復にも時間がかかると考えています。

このような環境の中、株式市場を配当利回りという観点から見ると、株価が割安で、中期的に利益成長も期待できる企業が多くあります。これらの企業の中から、競争力があり、安定的な配当収益と中長期的な値上がり益が期待できる銘柄を発掘して投資していく方針です。

ファンドは、日本の高配当株へ投資することで、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を目指します。加えて、オプションのプレミアム収入の獲得を目指す「株式プレミアム戦略」を活用し、更なる収益の獲得に努めて参ります。

今後とも「野村日本高配当株プレミアム(通貨選択型)」をご愛顧賜りますよう宜しくお願いします。

以上

当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、ファンドは元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【ご参考資料】

○ファンドの特色



- 「野村日本高配当株プレミアム(通貨選択型)」は4本のファンド(2つのコース)から構成されています。
- 2つのコースは、「円コース」、「通貨セレクトコース」です。以下「各コース」といいます。各コースには、「毎月分配型」と「年2回決算型」があります。

**1** 各コースは、日本の高配当利回り株式(以下、「高配当株」といいます。)を実質的な主要投資対象<sup>※1</sup>とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目指します。日本の高配当株への投資に加えて、「株式プレミアム戦略」を実質的に活用し、さらなる収益の獲得を目指します。

※1 各コースは、日本の高配当株を主要投資対象とする円建ての外国投資信託「ノムラ・マネージド・マスター・トラスト・ジャパン・ハイ・インカム・ストック・エンハンスト・ファンド」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とするファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。「実質的な主要投資対象」とは、これらのファンドを通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

「株式プレミアム戦略」とは、保有する銘柄にかかるコール・オプションを売却し、オプションのプレミアム収入<sup>※2</sup>の獲得を目指す戦略をいいます。

※2 オプションを売った対価として受取る権利料のことを指します。

- 各コール・オプションの売却等は、市場環境等を考慮し、それぞれ異なるタイミングで行ないます。
  - 保有銘柄の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することを基本とします。この場合、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却します。
  - 同一の銘柄に対し条件の異なる複数のコール・オプションを売却する場合があります。
  - 各コール・オプションの満期時において、再度コール・オプションを売却する場合があります。この場合、コール・オプション条件は異なる可能性があります。
  - ファンドでは、原則として、権利行使が満期日のみに限定されているオプションを利用することを基本とします。
- \*保有銘柄にかかるコール・オプションのほか、株式市場全体にかかるコール・オプションの売却等を行なう場合があります。

**2** 「野村日本高配当株プレミアム(通貨選択型)」は、投資する外国投資信託において為替ヘッジ手法の異なる2つのコース(「円コース」、「通貨セレクトコース」)から構成されています。

**3** 「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングが可能です。

分配頻度の異なる「毎月分配型」と「年2回決算型」の間でのスイッチングは行なえません。

◆「毎月分配型」は、年12回の毎決算時(原則、毎月22日(休業日の場合は翌営業日))に、原則として、配当等収益等を中心に分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合があります。なお、市況動向や基準価額水準等によっては、分配金額が大きく変動する場合があります。初回決算日は2012年8月22日となります。

◆「年2回決算型」は、年2回の毎決算時(原則、5月および11月の22日(休業日の場合は翌営業日))に、基準価額水準等を勘案して分配を行ないます。初回決算日は、2012年11月22日となります。

分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

○当ファンドの投資リスク

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、株式等を実質的に投資し、加えてオプション取引を活用しますので、当該株式等の価格下落や、当該株式等の発行会社の倒産や財務状況の悪化およびオプション価値の変動等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、通貨セレクトコースは、投資対象とする外国投資信託において円建て資産を対選定通貨で為替ヘッジを行ないますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも、債券価格変動リスクなどがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、ファンドは元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

【ご参考資料】

○お申込みメモ

●信託期間	平成29年7月24日まで(平成24年6月19日設定)
●決算日および収益分配	
【毎月分配型】	年12回の毎決算時(原則、毎月22日(休業日の場合は翌営業日))に、分配の方針に基づき分配します。
* 初回決算日は、	平成24年8月22日となります。
【年2回決算型】	年2回の毎決算時(原則、5月および11月の22日(休業日の場合は翌営業日))に、分配の方針に基づき分配します。
* 初回決算日は、	平成24年11月22日となります。
●ご購入価額	ご購入申込日の翌営業日の基準価額
●ご購入代金	原則、ご購入申込日から起算して6営業日目までに販売会社にお支払いください。
●ご購入単位	一般コース：1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円) 自動けいぞく投資コース：1万円以上1円単位
*原則、ご購入後にコースの変更はできません。*	詳しくは、野村証券にお問い合わせください。
●ご換金価額	ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
●ご換金代金	原則、ご換金申込日から起算して6営業日目から販売会社でお支払いします。
●ご換金制限	1日1件10億円を超えるご換金は行なえません。 なお、別途換金制限を設ける場合があります。
●スイッチング	「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングが可能です。
●お申込不可日	販売会社の営業日であっても、お申込日当日が以下のいずれかの休業日と同日の場合または12月24日である場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
●ニューヨークの銀行	●ロンドンの銀行
●ルクセンブルクの銀行	
課税関係	個人の場合、原則として分配時の普通配分金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。

※お申込みの際には投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

○当ファンドに係る費用

(2012年7月現在)

●ご購入時手数料	ご購入口数に応じてご購入価額に以下の率を乗じて得た額 <スイッチング時> 各ファンドへのスイッチングによるご購入は、ご購入口数に応じてご購入価額に以下の率を乗じて得た額		
	ご購入口数	ご購入時手数料率	スイッチング時手数料率
	1億口未満	3.675%(税抜3.5%)	1.8375%(税抜1.75%)
	1億口以上3億口未満	2.625%(税抜2.5%)	1.3125%(税抜1.25%)
	3億口以上5億口未満	1.575%(税抜1.5%)	0.7875%(税抜0.75%)
	5億口以上	0.525%(税抜0.5%)	0.2625%(税抜0.25%)
●運用管理費用(信託報酬)	ファンドの保有期間中に、期間に応じてかかります。		
●純資産総額に年0.924%(税抜年0.88%)の率を乗じて得た額			
●実質的にご負担いただく信託報酬率(信託報酬に、ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加えた概算値)	「円コース」: 年1.424%程度(税込)		
	「通貨セレクトコース」: 年1.574%程度*(税込)		
*純資産総額によっては、記載の信託報酬率を下回る場合があります。			
●その他の費用・手数料	ファンドの保有期間中に、その都度かかります。 (運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。)		
・組入る有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料			
・ファンドに関する租税、監査費用	等		
●信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額		

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は

野村証券

商号:野村証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号  
加入協会:日本証券業協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/  
一般社団法人金融先物取引業協会/一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会:社団法人投資信託協会/  
一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、株式等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、ファンドは元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。